

広報 すぎなみ

Suginami

1/1

令和7年(2025年)
No.2395

みどり豊かな 住まいのみやこ

今号は区内全世帯に
配布しています

区の広報紙「広報すぎなみ」は、主に新聞折り込みでお届けしていますが、1月1号は新聞購読の有無にかかわらず区内全世帯に配布しています。
※1月15日号からは通常どおり新聞折り込みで配布します。
☎全戸配布に関する問い合わせは、全戸配布コールセンター☎5389-0787（1月14日までの午前9時～午後5時〈6年12月31日～1月5日・12日・13日を除く〉）、広報課 ☎委託事業者=フットワークス

特集は、6・7面をご覧ください



特集

新年は備えを見直すタイミング！ ～いつ起こるか分からない地震に備える

CHECK!
「防災マップ」
「在宅避難ガイド」
も一緒に区内
全世帯に配布！

☎166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) 🌐区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> 📄発行: 杉並区 📝編集: 広報課



「広報すぎなみ」は月2回（1・15日）発行。新聞折り込みでの配布のほか、区施設・区内各駅などの広報スタンドに置いています。入手が困難な方には個別配布をしています。ご希望の方は、電話・ファクス・Eメール・申し込みフォームからお申し込みください。

詳細は、区ホームページ（右二次元コード）をご覧ください。



新年は備えを見直すタイミング! ~いつ起こるか分からない地震に備える

今年は甚大な被害をもたらした、能登半島地震から1年、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。今後30年の間に約70%の確率で発生すると言われている首都直下地震では、区内でもさまざまな被害が想定されています。過去の震災からの教訓を活かし、この機会に災害への備えに取り組みましょう。

—問い合わせは、防災課へ。

message 防災への備えを確認してみてください

杉並区長 岸本 聡子

能登半島地震から1年が経ちました。被災された方々が今でも日常に戻ることが出来ず、心身ともに大変な環境の中にいらっしゃることを考えると、とても胸が痛みます。そういう中で迎えた新しい年の始めにあたり、私は区民の安全・安心とその命を守るという責任の重さを、改めて心に刻んでいます。

私は顔のつながっている地域の人間関係があることが災害への重要な備えの一つだと思っています。地域コミュニティのつながりを大切にすること、強化していくことが、災害に強いまちにつながるということ、さまざまな施策を通じた地域づくりの中で取り組んでいきたいと思っています。

災害に対する脅威や備えというのは、区民の一番の心配事でもあり、関心事でもあります。今回、改めてご自身の状況を確認してもらいたいという気持ちを含めて、「広報すぎなみ」と一緒に「防災マップ」と「在宅避難ガイド」をお届けしました。行政の防災・減災の取り組みと共に、防災対策を自分事、みんな事として考えるきっかけにしてほしいと思っています。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

過去の災害を「知る」 過去の震災を基に、区内で想定されている被害を知ろう!

ライフラインの停止

出典 = 東北地方整備局震災伝承館

復旧するまでどうしよう?

ライフライン (電気・ガス・水道) 復旧までにかかった日数

	阪神・淡路大震災	首都直下地震
電気	6日	約4日
ガス	84日	約42日
水道	90日	約17日

区内の被害想定

出典 = 兵庫県庁ホームページ「阪神・淡路大震災の支援・復旧状況」、東京都防災会議「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」

知っておこう!

地震によりライフライン(電気・ガス・水道)が被害を受けた場合は、発災の規模によっては復旧までに多くの時間がかかります。電気の復旧は比較的早い傾向にありますが、ガス・水道の復旧は長期化が予想されています。

今からできる! ACTION!

将来の災害に「備える」 いざという時のために、今から備えよう!

ローリングストック

日頃から利用している食料・飲料水・日用品を少し多めに買い置きして、日常生活の中で定期的に消費しながら新たに買い足すことで、常に一定量を保つ方法です。

防災課

防災用品あっせん

ライフラインの被害に備え、懐中電灯・カセットコンロ・簡易トイレなどの備蓄をしましょう。区では、さまざまな防災用品のあっせんをしています。

区防災課

CHECK!

「広報すぎなみ」と一緒に区内全世帯に配布しています!

「防災マップ」「在宅避難ガイド」をご活用ください!

避難場所の確認や在宅避難の準備に役立つ情報を掲載しています。

▲防災マップ ▲在宅避難ガイド

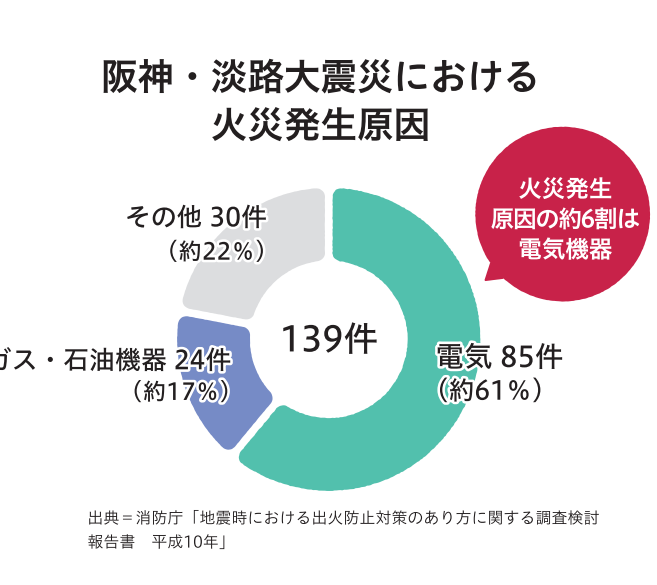
区ホームページからご覧いただけます。

▲防災マップ ▲在宅避難ガイド

火災の発生

出典 = 神戸市ホームページ「阪神・淡路大震災「1.17の記録」」

事前のできることは?



知っておこう!

最大震度7を観測した阪神・淡路大震災では、原因が判明している139件の地震火災のうち、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や停電が復旧したときに発生したものなど、電気を原因とした火災が約6割を占めています。

今からできる! ACTION!

感震ブレーカーの設置

地震時の電気・通電火災を予防する感震ブレーカーの設置支援を行っています。費用は原則1台2000円ですが、火災危険度ランク4・5の地域の世帯などの特例対象者に該当する場合は無料です。

区防災課

不燃化に関する助成

区内の一部地域で、老朽建築物の解体や燃えにくい建物の新築に対して助成を行っています。

区市街地整備課不燃化推進係

街頭消火器の設置場所の確認

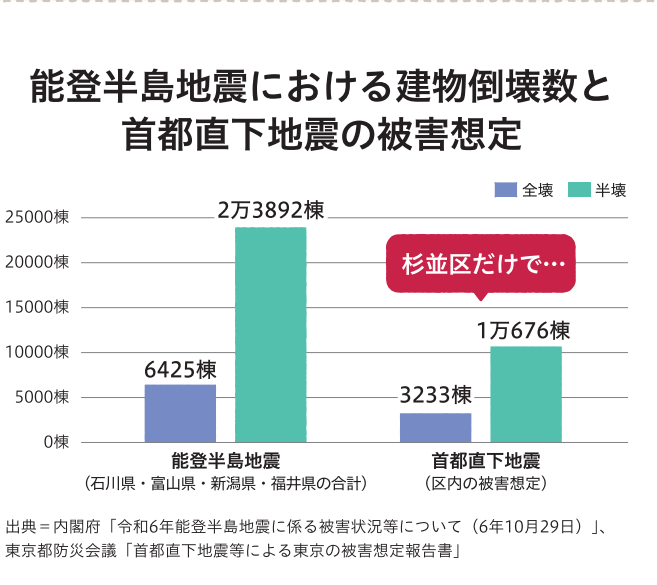
火災が発生した際の初期消火器具として、街頭消火器を設置しています。自宅周辺の街頭消火器の位置を事前に確認しましょう。設置場所は、区公式電子地図サービス「すぎナビ」をご覧ください。

区防災課

建物の倒壊

出典 = 神戸市ホームページ「阪神・淡路大震災「1.17の記録」」

何か対策ができるかな?



知っておこう!

北陸地方を中心に甚大な建物の倒壊被害をもたらした能登半島地震に対し、首都直下地震では、杉並区だけでも全壊・半壊ともに能登半島地震の半数近くの被害が予想されています。

今からできる! ACTION!

家具転倒防止器具の設置

家具が転倒すると、けが・火災の原因や避難の妨げになることがあります。区では、高齢者世帯などに対し、転倒防止器具を取り付けています。

▲65歳以上の方 ▲心身に障害のある方

区65歳以上の方 = 高齢者在宅支援課、心身に障害のある方 = 障害者施策課

耐震化に関する助成

昭和56年5月以前に建てられた建物を対象に、耐震診断・耐震改修などの費用を助成しています。また、昭和56年6月～平成12年5月に建てられた木造住宅の耐震化にも、助成制度があります。

区市街地整備課耐震改修担当

CHECK!

防災・減災の知識を深め、災害に備えよう!

防災まちづくりフェア

災害から命を守り、財産を守り、生活を守る。そのためにできることを今から考えてみませんか。

日時 1月14日(火)・15日(水)午前10時～午後4時

場所 区役所1階ロビー、2階区民ギャラリーほか

区感震ブレーカー・防災用品・パネル展示、耐震・ブロック塀無料相談会(図面・現況写真など持参)、阪神・淡路大震災などの震災写真展示、起震車による地震体験ほか

区市街地整備課耐震改修担当